

施策等の指標設定に当たっての基本的な考え方

1 指標の設定について

(1) 指標の役割

指標の役割は、施策等に設定された目標の達成度を測定することにあります。目標の達成度を把握することにより、次のようなことが可能になります。

- ア 施策等の現状（成果と課題等）をより客観的に評価・検証し、目標達成に向け、効果的・効率的な施策展開を図る。〔施策の改善に活用〕
- イ 施策等の進捗状況について、県民に分かりやすく説明する。〔県民に対する説明責任〕

(2) 現総合計画における指標の問題点

- ア 1つの指標では、施策等の全体の進捗状況を判断できない場合が多い。
- イ 目標の達成度を的確に説明できない（目標と指標の関係が分かりづらい）ものがある。
- ウ 専門的すぎて県民に分かりづらい指標がある。
- エ 量としての指標のみではなく、質的な改善を把握できる指標も追加すべきものがある。

(3) 次期総合計画における指標の改善方向

- ア 1施策等に複数の指標を設定して、施策等の進捗状況を幅広く測定できるようにする。
- イ 県民に分かりやすく、かつ、施策の進捗状況を的確に説明できる指標を設定する。
- ウ 基本的にはアウトカム指標とするが、適切なアウトカム指標の設定が困難な場合は、複数のアウトプット指標を組み合わせるなどの工夫をする。
- エ 量的な増減に関する指標だけでなく、質的な改善に着目した指標も積極的に活用する。
- オ 全国順位等の相対的な指標も積極的に活用する。

2 指標の目標値の設定について

指標の目標値については、施策等に設定された目標との整合を図りながら決定することとなります。

なお、次期総合計画における指標の目標値については、原則として、第3回部会において説明する予定です。